



恒例の正月野菜を、三里塚反対同盟「産直の会」の要請にこたえて、今年もとりくむことになりました。

野菜は「ケース物」と「単品」の二種類ありますので、御希望の品を御希望の量だけお求めであります。すでに多くの組合員のお宅で好評をえておりますようになります。有機農法（有機農法）でたんせいこめてつくるたものを、畑から台所へと直送する新鮮なものがかりです。

特に、暮からお正月にかけては、消費者の足元を見るかのように、生鮮食料品が大巾に値上げされるといった腹立たしい市況もあって、われわれ消費者と生産農家の信頼と協力によってこれに挑戦するところみでもあります。値段は市価より相当安価となり、値段は市価より相当安価となります。農民殺し、農業を胸をはって守りぬいて十八年、反対同盟農民のこころいきをぜひ手にとって支え、

産直の会

正月野菜をどうぞ

ご賞味下さい。

なお、ご注文の方法、野菜の種類と値段、等については、すでに各支部に注文表を送付しておりますので、参考のうえ、積極的に御協力をお願いいたします。

●注文締切りは、12月10日
●配達日は、12月20日～29日の間
●千葉市内へは戸別配達。千葉市以外の地域は各支部へまとめてお届けします。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

三里塚ジエット闘争勝利！

原則を堅持して粘り強く向う館山支部

日刊 動労千葉

83. 11. 25

No. 1501

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二(22)七二〇七

館山支部定期大会は、十一月十八日、十三時より、本部・中野委員長、水野副委員長、安房地区労・辻田実氏（衆院選千葉三区候補）を来賓に迎え、支部組合員五〇余名の参加をもつて運転区講習室において開催された。

厳しい情勢のなかで、原則を守つて闘つてきた

富川副支部長の開会のあいさつにつづき、議長には後藤光良氏が選出され、最初にあいさつにたつた笛生支部長から、国鉄を取りまくかつてない厳しい情勢の中、全力をあげて、十・九三里塚現地集会を突破口に、国際反戦集会、布施公判、狭山集会、中野公判、團結祭、中江公判をはじめ、十一・九レーガン訪日阻止を連続的に闘いぬいてきたことを報告するとともに、動乗勤改悪、昇給協定改悪、「五九・二ダイヤ改悪」等々暗い材料ばかりではあるが組織力を固め、どんな厳しい時にも組合運動の原則を堅持しねばり強く闘いぬこうと力強い表明がなされた。

来賓の辻田実氏があいさつにたち、金権千葉の汚名を払い、きたる総選挙には社会党を支え、勝利しようと訴え、全員で確認した。

活発な意見交換

その後、中野委員長があいさつにたち、昇給協定をめぐる当局の腹黒い狙いが組合員の差別分断を意図した組合つぶしであることを明らかにするとともに、それら当局の狙いを断固はねのけて先頭に立つて闘いぬく決意と、各支部の一層の團結が訴えられた。

質疑応答に入り、「五九・二ダイ改と現在との比

較はどうか」「動労千葉のこれからの展望はどうか」「法廷闘争の取り組みと今後の見通し」等の質問が出され、代議員傍聴者を含め活発な意見交換がなされた。その他、六月一日に結成された館山支部家族会規約と行動予定が提案され、満場一致で採択された。大会は最後に、厳しい情勢下一人一人がたちあがり、執行部の指導のもと一層団結して闘つていくことを確認し、笛生支部長による團結ガンバローで十六時三〇分終了した。

執行部を先頭に、團結ガンバロー

支部通
信員・発

